

# 2022年 8 月度 中部品質工学研究会 議事録

- 開催日時 2022/8/6 (土) 10:00~17:00
- 開催場所 Teamsを用いてのリモート(オンライン)
- 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	L	牧野	L	横尾	S	城越	L	合田	L	伊藤	S	舟山	書	出島	L
福田	L	水田	L	山中	L	山口(展)	L	黒田	L	鈴木	L	古谷	L	池田	L
三浦	L	山口(直)	L	岡本専務	L	北村局長	欠								
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休				

## 4. 研究会内容

### 1) 事例輪講: MTシステムを用いた顔画像による個人識別の研究(2)

#### — マルチMT法による個人識別 — (株ダイセル池田圭一)

マルチMT法を用いた顔写真による個人識別の論文を紹介した。2011年の論文であったが、現在ではRT法、誤圧法の適用が適切と考えられる。

### 2) 品質工学シンポジウム発表内容検討: 機械学習におけるMT法の立ち位置2 経過報告 (株ダイセル福田翔太)

比較手法の再現実験を兼ねて学習時間と推算時間を計測している。  
検証途中なので特段資料を作成しておらず、口頭のみで報告した。

### 3) 業務改善事例発表会報告内容検討: (武蔵精密工業株山口展由)

発表資料の内容について相談。  
資料の表現や文言についてアドバイスいただいた。  
アドバイスをもとに資料を完成させ、次月の研究会で完成版を発表し、再度レビューを頂く。

### 4) 品質工学シンポジウム発表内容検討: 社会損失の低減はまず工場のムダ削減から

#### — 生産シミュレータ開発における品質工学SN比の活用 (ローム株山中貴光)

生産現場における7つのムダのうち、在庫のムダ、つくり過ぎのムダ、手待ちのムダを削減するために用いる生産シミュレータを開発している。その動作原理は、過去の生産履歴から抽出した工場マスター情報をもとにして仮想の空間で生産処理を行い、その結果を記録していくというものである。この生産シミュレータのシミュレーション精度を向上させるために、品質工学のSN比による評価と工場マスター情報の調整を直交表のサイクル実験として実施した。結果として、実験前に約24dBだった工場の総合SN比が、実験後は33dB以上に向上し、それとともにシミュレーション結果の実績履歴への合致度も大きく改善された。

### 5) MTシステム事例相談第二回 (ITEQ舟山博人)

先月の続きでレーザ加工データのT法解析について相談実施  
・単位データの全データ平均使用の場合と1つの信頼サンプル使用の場合についてアドバイスをいただいた。  
・カテゴリーデータの解析法についてアドバイスいただいた。

## 6) 池田圭一氏作成のMT法、RT法、T1のソフト操作説明

過去に研究会で作成し、研究会で利用しているソフトについて操作を説明。ユーザーのPC環境により一部機能が使えないことも判明したので、今後改良する。

## 7) 事務局連絡

- ・ 講演依頼決め実施
- ・ 相談テーマスケジューリング調整実施
- ・ 中部、滋賀、広島、関西の合同研究会の情報共有実施

以 上